



「本のみち」を歩いてみよう!

「学ぶ、集う、楽しむ」をテーマに、小さな子どもから高齢者までが快適に利用できる新しい尾久図書館。木漏れ日をイメージした照明や、公園と図書館をつなぐ「本のみち」など、居心地の良さもバツグンです。“読書を楽しむまち・あらかわ”ならではの素敵な図書館に行ってみよう!



尾久図書館長
つるおか 哲久さん

みんながワクワクできる場所に

尾久図書館は静かに勉強をするだけではなく、友達とおしゃべりをしながら本を選んだり、話し合いながら勉強ができます。小さな子どもから高齢者まで、みんながワクワクできる図書館です。夏休みには、いろいろなイベントを開催予定です。宮前公園に遊びに来たときは、ぜひ、尾久図書館にも気軽に立ち寄ってくださいね。

1階 いきいきひろば



▲文字が大きく印刷された大活字本など、シニア向けの本を集めたコーナー。図書館員のおすすめ本や、「あらかわ街なか図書館」の取り組みも紹介されています



ゆったりと座れるおしゃべりしやすいでびと休み。1階と2階にあるテラス席では、飲食もできます

ティーンズひろば



▲10代向けの小説や人気のコミックなどが並んでいます。机やイスもあり、くつろげる場所。交流掲示板では「この本がおすすめ!」など、メッセージのやりとりができます



▲親子連れには便利なベビーカー置き場。館内用のかわいいカートもおすすめです



▲1階よりも数段上がったところにあるわくわくひろばは、子ども向けの本がたくさんあり、まるで本棚の迷路のよう。調べたいことがあるときは、ここに来てみよう!

中2階



▲趣味の雑誌やコミック、大人向けの絵本、柳田邦男さんが選んだ絵本コーナーなど、それぞれ違った分野の本が並び、多世代が交流できるエリアです



▲自然科学の分野の本を集めた一般書エリア。都電荒川線や防災・防犯の特別コーナーもあります



▲静かな学習室。カウンターで図書館利用カードと引き換えに座席番号札を受け取れば、誰でも利用できます

2階



▲歴史や社会科学の分野の本のほか地図・旅行ガイドブックなどを集めた一般書エリア。木のぬくもりが感じられる座り心地の良いので、本の世界に没頭できます



▲小説やいろいろな国の文学を集めたコーナー。誰もが知っている人気コミックの外国語版など、本棚を見ただけでも楽しめます



▲写真集や美術の本がずらり。ジュニア記者が手にしているのは、学校図書館には置いていない珍しい大型本です



開放的な吹き抜けからつながる中2階は自然光が降り注ぎ、別世界のような空間が広がります。その先に続く2階にはいろいろな種類の新聞が読めるコーナーのほか、荒川区や尾久地域にゆかりのある本が並ぶ地域資料コーナー、「俳句のまちあらかわ」の特別コーナー、グループ学習室などがあります。外の景色が一望できる見晴らしカウンターは、となりの人を気にせず広々と使えるので、勉強や調べものに集中できます。

公園とつながる快適な図書館
移転オープンした尾久図書館は、宮前公園内にあるため、公園と図書館を行き来できるのが魅力です。図書館のメインストリートで、公園へとつながる散歩道をイメージした「本のみち」沿いには、テーマごとにいろいろな本が並べられています。1階では、図書館ではめずらしくおしゃべりをしたり、にぎやかに過ごすことが出来ます。天気の良い日は、外のテラス席がおすすめです!

集中できるね
中に入ると本が読めるキューブ型のベンチ。自分の部屋にいるようなくつろげる空間で、集中力もアップ!



わたしの好きな本
『10歳までに読みたい世界名作 13巻 ひみつの花園』
作：F・H・バーネット 編・訳：日当陽子 発行：学研プラス

両親を亡くした主人公のメアリーは、臆病で自分では何もできない女の子だったけど、おじさんの家で見つけたひみつの庭で植物や友達と触れ合ううちに成長していきます。小学2年生のときに学校図書館でこの本を知ってから、ずっとお気に入りです。



ぼくの好きな本
『グレッグのダメ日記』
作：ジェフ・キニー 訳：中井はるの 発行：ポプラ社

主人公のグレッグが何をやってもトラブルを起こしてしまい、1ページに1回は笑えるところがあって面白いです。日記の絵も独特で、文字だけの本よりも読みやすいと思います。尾久図書館には、学校図書館にはないシリーズもあるので探るのが楽しいです。



わたしの好きな本
『ラストラン』
作：角野栄子 発行：KADOKAWA

74歳のイコさんと12歳のふーちゃんがツーリングに行く物語です。実はふーちゃんは幽霊で……その不思議な世界観がとても面白かったです。小さい頃から本が大好きで、学校の図書委員長をやっています。皆さんも図書館で好きな1冊を見つけてください。



ぼくの好きな本
少年探偵1 『怪人二十面相』
作：江戸川乱歩 発行：ポプラ社

怪人二十面相を捕まえようとする、少年探偵団の羽柴社二くんの活躍が面白かったです。江戸川乱歩シリーズはまだ2冊目なので、これからたくさん読みたいと思います。ほかのシリーズの本も、学校図書館で借りて読んでいます。